

世の中の動きを映す生きた教材、新聞。新聞の読み方や作り方などを分かりやすく伝える出前講座「しもつけ新聞塾」で学ぶ小中学生および高校生の活動の様子を紹介します。

矢板中

【いつ】5月1日

人

【どこで】矢板中

【学んだこと】記事の書

【だれが】1年生191

き方、見出しの付け方、

新聞の割り付けの仕方など

【講師】運動部記者

桜井誠

【ひとこと】大嶋亜也佳

さん(12)「新聞記事の書き方を分かりやすく説明してもらえて良かったです。特に、文章を書く際、起承転結ではなくリードから書く方法に興味を持った。総合学習のまとめをするときになどに活用してみたいと思った」



新聞に目を通す矢板中1年生

1年担任 鈴木健先生(39)「取材の仕方や記事の書き方に関心が高まった。教室で新聞レイアウトの実技を熱心にする生徒の姿が印象的だった。『紙面づくりに正解はない』ということなので、自分なりに考えメッセージを伝える力を身に付けてほしい」

しもつけ新聞塾は学校など公的機関、非営利団体を対象に無料で行っています。希望の1カ月以上前にお申し込みください(原則10人以上)。(問)下野新聞社教育支援部 ☎028・625・1172、ファクス028・625・1193。過去の出前講座は下野新聞ホームページ「SOON」のNIE・しもつけ新聞塾コーナーで見られます。「授業用にクラス全員分の新聞を用意したい」など、教育目的で下野新聞を使用する場合、1部40円(通常120円、原則同じ日の新聞10部以上)で購入できます。(問)下野新聞社販売部 ☎028・625・1120。